

平成27年度 授業改善推進プラン

教育目標

憲法・教育関係法規
学習指導要領
都、区教育目標

- 深く考え、進んで学習する。
- 責任を重んじ、規律正しく行動する
- 心身を鍛え、情操を豊かにする。

保護者や地域の願い
期待される生徒像

学校経営方針（学力向上にかかわる要点）

- ☆基礎・基本の徹底
- ☆学習意欲の喚起
- ☆個に応じた指導の充実
- ☆学習習慣の確立

各教科の指導の重点を確実に生徒に身に付けさせるため次の取組を行います

道徳教育の指導の重点

○道徳の時間を要として、道徳教育推進教師を中心に学校の全教育活動を通じて計画的に心の教育を推進する。
○自立の精神を尊び、自主的に考え、誠実に実行し、その結果に責任を持つ態度を育てる。
○公共の精神を尊び互いの人格を尊重し協力するとともに、自他の生命を大切にする心を育てる。
○教育相談的な手法を用いて、人間関係を築く力やソーシャルスキルを育てる。
○道徳授業地区公開講座では、生命を尊重する態度や心情の育成を重点とし全校共通の内容項目で公開授業を実施する。

総合的な学習の時間の重点

○各教科で修得した知識・技能を相互に関連付けながら探究活動を行い、思考力・判断力・表現力等を育てる。
○学習活動に発表する機会を多く設定したり学習新聞づくり活動を積極的に取り入れたりして、生徒の表現力を高める。
○世界的な問題や課題への興味・関心を高め、将来にわたって積極的に課題を解決しようとする能力や態度を育てる。
○体験活動、地域人材や外部施設を活用したプログラムなどを通して、自己の将来を力強く着実に切り開いていこうとする資質や能力、態度を育てる。

教科名	取組内容
国語	☆卒業時まで、漢字検定3級以上の取得を目標に、日々の学習を行います。○自己表現力の向上のため、発表・集団討議、パネディスカッションやプレゼンテーションなどの活動を多く取り入れます。○様々な形態の文章に触れさせ、それに合った読み取り方を学ばせ、自分なりの考えをもち、的確な自己表現ができるようにします。▲漢字や文法など言語知識力を向上させるため、様々な教材を活用し、授業展開を工夫します。
社会	☆資料活用の技能を高めるために、各授業で資料を読み取る教材を工夫します。 ○社会的事象を考察し、言語力を向上させる授業を展開します。 ○社会生活に関わる身近なものや視聴覚教材を取り上げ、学ぶ意欲を向上させます。 ▲基礎・基本の定着を図るため、プリント等を有効に活用し、確かな学力の向上を図ります。
数学	☆筋道を立てて説明するなど、自分の考えを他へ伝える活動に取り組みます。 ○デジタル教科書、投影機等を用いて、視覚的に興味を持たせる教材を使用します。 ○習熟度別授業の良さを活かして、生徒の実態に即した題材を用意し、個別指導の充実を図ります。 ○単元テストや問題演習で反復練習をすることにより、基礎・基本の定着を図ります。 ▲身近なことについて触れ、実験を通して数学に対する意欲を向上させます。
理科	☆実験や観察を多く取り入れ、結果を科学的に正しく分析、考察、発表できる力を向上させます。 ○身近な環境や物質、現象を取り上げながら、理科に対する興味や関心を深めていきます。 ○サイエンスアドバイザーとの連携を図りながら、実験や観察の授業を少人数で行います。 ○小テストや問題演習をくり返し行い、学習事項の定着を図ります。 ▲判断力、思考力や表現力を育てるため、科学的な根拠を基に言語を用いる活動を行います。
音楽	☆幅広い時代・国の音楽に触れる機会を増やし、様々な音楽に親しむ態度を育てます。 ○表現を工夫するために、お互いの意見を伝え合う活動を増やします。 ▲音楽活動を行うために必要な知識や発声法、楽器の奏法等、基本的なことを定着させます。
美術	☆目標に併せて将来的な意義を意識させる指導をし、自発的な学習態度を高めます。 ○基礎的な技法・知識・重点目標を繰り返し指導し、常に学習の方向性を確認します。 ○参考となる掲示資料等を整え、自ら様々な表現の可能性を探る意欲を高めます。 ▲鑑賞の機会を増やし、発表させることによりイメージを上げ深める活動を取り入れます。
保健体育	☆個人やグループの課題をみつけ、課題解決の方法を考える力を向上させます。 ○ICT機器を活用して、分かりやすい授業を展開し、生徒の学ぶ意欲を高めます。 ○スポーツを通じたコミュニケーションによって、互いに協力する態度を育てます。 ▲準備運動後の補強運動やゲーム等で運動量を確保し、体力の向上を図ります。
技術家庭	【技術】☆実習ではお互いに相談して失敗を防ぐとともに、作品を完成させるためにしっかりと取り組む姿勢を定着させます。○加工方法・手順や作業の効率化など、基本的な技術の向上を目指します。○興味を持たせる授業を展開すると共に、自ら進んでものづくりに取り組む姿勢を育みます。▲ICT機器を活用して情報の収集・発信の基本を学び、モラルやネチケットの定着と著作権等の意識付けをします。 【家庭】☆実生活で活用できる物・知識の習得であるという意識付けを行います。 ☆効率よく作業をするための工夫を考えさせ、気づけるよう細かく伝えていきます。 ○実生活に生きる技能の修得を目指します。▲完成品や段階的見本を提示し、制作に必要なイメージ作りをさせて授業を進めていきます。
英語	☆単元ごとに細かく課題を設定したチェックリストを作成し、その課題をクリアさせることで、学習内容の定着を図ります。○チャンツを取り入れて英語の発音・リズム・構文を身に付け、書く・話す活動で活用していきます。○スキットやスピーチなど発表の活動を積極的に設け、英語でプレゼンテーションする能力、考えを相手に伝える力を高めていきます。○ペアワークやグループワークでの、問答や討論などの活動を通して、様々な工夫をしながら会話が続けられる表現力を身に付けさせます。▲読解力の向上のため、ジェスチャーリーディングを取り入れ、内容理解を必要とする課題を設定していきます。

生活指導の重点

○差別やいじめは、どの学校・学級にも起こりうるものであるとの共通認識を図り、いじめ対策委員会を設置し、いじめ防止基本方針のもと、生徒の人権意識を高め、いじめの根絶を目指す。
○スクールカウンセラーや関係諸機関と連携して学校いじめ対策委員会を開催し、教育相談体制の充実を図るとともにいじめや不登校などの問題を解決する。
○全校生徒を対象に相談週間を4回設け生徒理解を深めるとともに情報の共有化を図り、問題の早期発見・早期解決に努める。
○人権標語コンテストなどを通して、生徒の人権意識を高める。
○全教職員が体罰否定の意識を持って生徒理解を深め、生徒との信頼関係に基づく指導を行う。
○生徒会活動を中心に生徒の自主的な活動を行わせ、認め合う集団作りを促進する。
○特別支援教育コーディネーターを中心に、特別な支援を必要とする生徒についての共通理解を図り、関係諸機関とも連携して特別支援教育を推進する。
○言語環境を整え、高陵が「ま」の1園2校と連携したあいさつ運動を推進し、さわやかなあいさつが響き合う環境をつくる。
○保護者や関係諸機関と連携して、携帯電話やインターネットの使用上のルールなどの情報モラルを身に付けさせる。
○関係諸機関と連携した薬物乱用防止教室、自転車安全教室などを通し、安全教育を推進する。
○学習効果を高めるために、授業規律を徹底する。
○災害時行動マニュアルに基づき、麻布総合支所、消防署や地域と連携した防災訓練を実施することで、生徒の防災についての意識を高め、自ら危険を予測し回避する能力を育てる。

進路指導の重点

○将来に夢や希望を持って生きることができるよう職場体験などを通して働くことの意味を理解し、適切に自己の生き方を選択することのできる能力を高める。
○地域人材や外部施設を活用したプログラムや「ライフプラン」の作成などを通してキャリアプランニング能力を育てる。

本校の授業改善に向けた視点

教育課程編成上の工夫	指導方法・指導体制の工夫	評価活動の工夫	校内における研究や研修の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
授業時数の調整を行った時間割を月ごとに作成し、授業時数を確保する。伝統である学校行事や諸活動を継続しながら大学等の地域の教育資源を活用した特色ある教育課程を編成する。	習熟の程度に応じた授業内容や少人数指導、課題解決的な学習、ICTの活用を、個々の生徒理解や研修の成果を生かして改善し、発展的な内容の学習や補充学習を充実させる。	各教科の評価計画に沿って、それぞれの指導内容における達成目標を明確に示して、生徒の学習意欲を喚起する指導とともに、明確な規準による評価を実施する。	「言語活動の向上による、豊かな表現力と美しい日本語を身に付ける指導の工夫」を研究主題とし、各教科においても言語表現力を高め、自己実現を目指す指導の研究を進める。	校外の人材や地域の教育資源を活用した授業を実施すると共に、本校の教育活動を広く保護者・地域の方々へ公開し、理解や協力を得られるようにする。幼・小中の連携を推進する。